



豚丹毒菌新型株にご注意！

致死率の高い、豚丹毒新型株が県内に侵入しています。養豚農家のみなさまにおかれましては、飼養衛生管理の徹底やワクチン接種の励行等を実施してください。

豚に異常が認められた場合は、担当獣医師または家畜保健衛生所へご相談ください。

<従来型の豚丹毒との違い>

- ✓ 重篤な急性敗血症を発症しやすい強毒株
- ✓ 致死率が高い(50~80%)
- ✓ 全身のチアノーゼや心筋壊死を起こす。

<発生地域>

- ✓ 平成21年頃から東北、関東、北九州を中心に発生
- ✓ 近隣では、長野県、静岡県、福井県で発生

<愛知県内における発生>

- ✓ 平成27年4月に1件発生。肥育後期の豚が10頭死亡。
- ✓ 過去に県内で分離された豚丹毒菌株を調べたところ、平成18年頃に既に県内へ侵入していたことが判明

<対策>

- ✓ 従来型と同様、ペニシリン系抗生剤に高感受性
- ✓ 現在市販されているワクチンも有効とされている。
- ✓ 消石灰が有効（消毒薬や熱に対する抵抗性は低い）



問い合わせ先： 東部家畜保健衛生所

電話：0532-45-1141

(休日緊急:090-8555-9041)